



園だより



令和7年3月19日発行
秦野市立本町幼稚園長
【HP版】

3学期は短いですが、この期間に経験してきた大切なことの一部を紹介します。

大事にしたい経験です



3学期には、羽根つきやコマ回し、豆まき等日本で昔からある遊びや行事に触れる機会があります。住宅事情や動画・ゲーム遊びが主流などの様々な理由から、家庭で経験する機会が少なくなっているのではないのでしょうか。様々なお正月遊びでは、人とかかわり、楽しみながらルールを守ったり身体機能を高めたり、文字や数字に触れることもできます。豆まきも由来を知り、自分の生活を振り返り、追い出したいものを鬼として豆をまくなど、園では貴重な経験としてこれからも大事に取り入れていきたいと思います。

一緒に遊ぼう！他園のおともだち



いろいろな友達とのかかわりは、子どもたちにとって貴重なものです。各学年が単級になっている現在、同じ顔ぶれの中での生活に安心感をもって行動することができるでしょう。一方で、これから成長するにつれて、もっともっと広い社会に出ていく子どもたち。相手への声のかけ方、仲良くするための方法などを学ぶことも大切です。この南幼稚園との交流を通して、遊びながら楽しく経験することができました。

思いを伝えよう ～手段はいろいろ～



年少児がペットボトルのキャップを利用したコマ作りをしていました。芯にする竹ひごの長さを切って調節しながら作り進めていくのですが、ぐらぐらしてうまくいきません。すると、「○○くん、手伝って！」と友達に助けを求めたのです。「先生やって。」の言葉がよく聞かれるところですが、友達に声をかけられたことに、これまでも友達と助け合って乗り越えてきたのかなと成長を感じました。



思いの伝え方は、いろいろあります。子どもたちは言葉を使ったり絵に描いたり、実際自分がやって見せたり・・・。どうしたら相手に分かってもらえるか、遊ぶ中で頭をフル回転させているようです。伝わって楽しさを共有することで自信にもつながります。